

コロナ禍で困窮する市民を支援 要望書（8次）を提出 消費税5%減税 PCR検査拡充 生理用品常設など意見書提案

明けまして
おめでとう
ございます



2022 年元旦

コロナ禍から市民の暮らしを守るため奮闘

世界で新型コロナウイルス感染症のパンデミックが発生してから、それまでの暮らしも経済も一変しました。

コロナ感染症の患者数も、一昨年の暮れから東京オリンピック開催にかけて、宇治市でも、8月の感染者数が830人を超えるなど、全国各地で医療崩壊となる爆発的がおこりました。

繰り返し「緊急事態宣言」と「延長」が発出され、コロナ感染から市民を守り、暮らし・営業を支援していくことが切実に求められてきました。

党議員団は、「自粛と補償は一体に」するべきと、2021年から22年にかけて

毎議会 意見書を提出

子育て・教育・気候危機・シニア市民の声を届けて

党議員団は、京都府・国に、他党派にも呼びかけて、市民の願いを意見書として提案しています。

市民から提出される子育てや教育、暮らしなどの請願の紹介議員になり、採択

て、8次にわたる緊急要望書を市長、教育長に提出してきました。

要望には、介護や障害者施設、保育所などでのPCR検査の実施と損失補填への支援、ワクチン接種の前倒し実施、「3密」を避けるために学校での人的支援、国の持続化給付金、家賃支援の再度の給付など求めました。

オミクロン株の感染拡大が懸念され、コロナ禍で困窮する市民の暮らし、地域経済へのいっそうの支援が求められています。暮らしの要望をしっかりと受け止め、実現に頑張ります。

に力をつくしています。市民の願い実現に引き続き、力をつくします。

今年も
がんばります

※12月26日号議員団だよりで「高校生などの対象者は1月24日までに申請」は「12月24日」の間違いです。訂正しお詫びします。

日本共産党宇治市議員団

団だより 2022 年元旦号

連絡先：Tel0774 - 22 - 3141
Fax0774 - 24 - 7884



ご意見をお寄せください。

